

| G133 | | 学校園における農園芸実習 | |
|-----------|--|--------------|----|
| 英名科目名 | | | |
| 大学名 | 京都教育大学 | | |
| 連絡先 | 教務課教務グループ TEL:075-644-8157 | | |
| 担当教員 | 南山 泰宏(環境教育実践センター) | | |
| 開講期間 | 2021年10月07日(木)~2022年02月10日(木) 3~4講時 12時50分~16時05分 授業休止日 2021/12/23(木),2022/01/13(木) 冬季休業 2021/12/24(金)~2022/01/05(水) 定期試験週を含む | | |
| 開講形態 | 後期・秋学期 | 開講曜日・講時 | |
| 単位数 | 2 | 履修年次 | |
| 会場 | 第2学舎 | | |
| 授業定員 | | | |
| 単位互換生定員 | 5 | 京カレッジ生定員 | 20 |
| 試験・評価方法 | 授業に12回以上出席した者を評価の対象にする。 実習への取り組み態度(40%)、提出用の記録ノート(30%)、期末課題レポート(30%)により評価する。 | | |
| 超過時の選考方法 | 単位互換：書類選考 京カレッジ：抽選 | | |
| 受講料 | 10,000円 | | |
| 別途負担費用 | | | |
| その他特記事項 | <p>【会場】 京都教育大学環境教育実践センター(第2学舎、アクセス：https://www.kyokyo-u.ac.jp/access/access02/)</p> <p>【自学自習についての情報】 講義の内容や実習中の説明を毎回フィールドノートにメモし、授業後にこれを参考に提出用の記録ノートを作成すること。 授業時間以外でも環境教育実践センターに足を運び、植物の生育を観察すること。</p> <p>【アクティブラーニングに関する情報】 授業時間の大半がフィールドワークである。</p> <p>【担当講師についての情報】 担当教員は公立の農業研究機関で勤務した経験があり、実際の農業生産がどのように行われているか紹介しながら実習活動を行う。</p> <p>【注意】 京カレッジ生への単位認定は行いません。 車での来学はご遠慮いただいております。 教室は授業初回日に本学掲示板にて確認してください。</p> | | |
| パッケージ科目 | | | |
| 低回生受講推奨科目 | | | |
| 講義概要・到達目標 | <p>【授業の概要】 本学の環境教育実践センター内の圃場、温室において、作物、野菜、花卉を実際に10月から2月の後期の期間に栽培・収穫することにより、植物の生長に及ぼす環境要因の影響や植物栽培の知識・技能の基礎を学ぶとともに、植物を栽培する楽しみ、生命の不思議さ、農業の大切さや困難さを体験し、汗を流して勤労する喜びを理解する。また、有機物リサイクルシステム等を用いて作物残渣や落葉から堆肥を作成し、「食の循環」の意義を学ぶ。さらに、バイオマス利活用システムによる木質有機物のエネルギーとしての利用についても実習を通して理解する。</p> <p>【授業の到達目標】 1.植物を栽培・収穫する活動を通して、農業の意義やその教育力を実践を通して理解できるようになる。 2.環境要因の影響下で植物を栽培するための知識・技術の基礎を習得し、教員になった際に実践できるようになる。</p> <p>【授業の形式】 講義と実習(フィールドワーク)</p> | | |
| 講義スケジュール | 第1回 イネの収穫・乾燥・調整 | | |

| | |
|------|--|
| 第2回 | プリムラ・マラコイデス、パンジーなどの鉢上げ |
| 第3回 | イネの脱穀、カキの収穫・脱渋、九条ネギの播種・育苗 |
| 第4回 | イチゴの定植・管理、ピーナッツの収穫 |
| 第5回 | イネの初すり、サツマイモの収穫・茎葉の粉碎処理・リサイクル堆肥の作成 |
| 第6回 | パンジー・デージー・サイネリア等の鉢上げ、テッポウユリの簡便培養 |
| 第7回 | 花壇の設計(ハボタンやパンジー等の草花の植えつけ)、コンテナへの草花の寄せ植え |
| 第8回 | タマネギの苗の定植・追肥、サトイモの収穫 |
| 第9回 | 秋植え球根の植えつけ・管理、ヒヤシンスの水栽培 |
| 第10回 | 春植え球根の掘り上げ・貯蔵・箱詰め、イナワラ加工、新米の試食 |
| 第11回 | もちつき |
| 第12回 | 果樹(カキ・キーウイ等)・樹木の剪定、整枝、寒肥施用 |
| 第13回 | タマネギの管理(追肥)、温室・ビニールハウスの管理、シイタケの原木栽培(植菌) |
| 第14回 | 樹木・果樹剪定枝の粉碎、樹木剪定枝からの木質ペレットの作成・ペレットストーブの運転、落ち葉処理・腐葉土作成 |
| 第15回 | ジャガイモ畑の土作り(堆肥施用)、トラクターによる耕うん、育苗用培養土の消毒、乾燥肥料の作成 |
| 教科書 | 必要に応じて資料プリントを配布する。 |
| 参考書 | <p>「学校園の栽培便利帳」・日本農業教育学会 編・農山漁村文化協会・ISBN978-4-540-95079-7</p> <p>「学校園の観察実験便利帳」・日本農業教育学会 編・農山漁村文化協会・ISBN978-4-540-98056-5</p> <p>「応用植物科学栽培実習マニュアル」・森源治郎 他監・養賢堂・ISBN978-4-8425-0058-1</p> |